



〒891-1393 鹿児島市宮之浦町862
TEL: 099 - 294 - 2311
FAX: 099 - 294 - 2309
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/>

かごしま教育ホットライン24

0120-783-574 (フリーダイヤル)
099-294-2200 (直通)
0570-0-78310 (全国統一ダイヤル)

大原台



杜



「月の光」

所長 中野 健作

先日、鹿児島盲学校新築移転記念式典に参加した。広々とした敷地に真新しい校舎が落ち着いた。たまたま周囲に溶け込んでいる。学校に着くとすぐに校長室に向かった。そこにある一枚のレコードを一度は見たいと思っていた。そのレコードの由来が、昭和五十三年発行「鹿児島の特殊教育」の中に紹介されている。

昭和四十七年九月十六日、時の皇太子・美智子妃の両殿下は鹿児島盲学校を訪問された。そこでは、栗嶋十氏の「栗野岳の主」を教材に勉強中だったが、「大きなまきは月に光を受けて…」という教科書の文章に、全盲の児童が『先生、月の光ってどんな光ですか。』と聞いた。教諭は『ことばで言っても分からないから五年生の理科の時間で勉強します。』と答えた。何事もなく両殿下は教室を去られ、視察は終わった。この年の十一月、美智子妃殿下は再度鹿児島を訪問された。その折、宿舎のホテルで『このレコードを盲学校の生徒さんに差し上げてください。』と金丸知事に託された。ドビュッシーのLPレコードで、耳で聞く『月の光』をプレゼントされたのであった。

この出来事に、校長以下職員一同ひとしお感激したと記してある。妃殿下のお志には胸をうたれる。と同時に、記録にはないが、一生懸命授業をした教師が人知れず抱いたであろう「なぜあの時『五年生の理科で…』としか言えなかったのか。」という後悔の念、「己の未熟さへの怒り、そして消えてしまいたいような辛さを思わずにはいられない。決してそうではないのだが。子どもたちに真剣に全霊を傾け、向き合っているからこそ、自らの不徳を思い、その未熟さにつつまれる。そして、それら乗り越え、また明日の教育に情熱を燃やす。だからこそ教師なのだ。様々な課題や試験を抱えた今こそ、懸命に、そして誠実に生きる本物の教師になりたいと強く思う。

1 調査研究事業

- 専門的・実践的な調査研究
- 提携による研究推進


専門的・実践的な調査研究

全体研究主題 「生きる力を豊かに育てる学校教育の創造」

番号	研究テーマ等
1	プロジェクトによる研究「授業力を高める校内研修の進め方」の推進 (企画課)
2	「教職員のニーズを踏まえた効果的・効率的な研修の構築に関する研究」 (教職研修課)
3	「思考力・判断力・表現力を育成する指導と評価に関する研究」 (教科教育研修課)
4	「児童生徒の発達の段階に応じた情報モラルの指導の在り方に関する研究」 (情報教育研修課)
5	「特別な教育的ニーズのある児童生徒に対するアセスメントに基づく学習指導の在り方に関する研究」 (特別支援教育研修課)
6	「自己指導能力の育成に向けた生徒指導の在り方に関する研究」 (教育相談課)

調査研究発表会

期日 平成24年1月27日(金)
会場 県総合教育センター
全体会 ・プロジェクト研究発表
・課による研究発表等
分科会 8分科会



平成23年度調査研究発表会

4 情報教育事業

- 情報教育に関する調査研究や研究支援
- 情報教育研修システムの活用促進

調査研究・研究支援

情報教育の推進に向けて児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、教育活動におけるコンピュータやインターネット等のICT活用及び情報教育推進のために、実態調査や実践に基づいた調査研究に努めます。

また、テレビ会議システムやeラーニングシステムによる情報提供や指導助言も行っています。

本年度は、平成21年度から研究を進めている「児童生徒の発達の段階に応じた情報モラルの指導の在り方に関する研究」について、調査研究発表会で報告します。

情報教育研修システムの活用促進

Webサイトによる各教科等に関する指導資料や学習指導案などの提供を行っています。

また、情報モラルの指導やICT活用に係る最新の情報を提供しています。

「教育ネットかごしま」

総合教育センターWebサイトから見るができます。ネットワークを活用した教育情報を提供し、児童生徒の学習活動及び教育関係者の研究・研修を支援します。



「教育ネットかごしま」とは、鹿児島県教育情報通信ネットワークシステム愛称です。

研究提携校の研究テーマ

学校名	研究テーマ	公開期日
鹿児島市立 山下小学校	自ら考え判断し、表現できる子どもを育てる学習指導の開発	平成23年 11月18日(金)
奄美市立 宇宙小学校	気付き・考え・かかわる社会科学習指導の充実～学年別における複式社会科学習指導を通して～	平成23年 11月15日(火)
鹿児島市立 吉田南中学校	「確かな学力」をはぐくむ学習指導～ICT活用と言語活動を通じた授業改善～	平成23年 10月28日(金)
県立松陽高等学校	よりよく生きる生徒の育成～知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力の育成のバランスを重視して～	平成23年 11月8日(火)
県立出水養護学校	一人一人の自立と社会参加を目指した子どもを育てるために～キャリア教育の視点から見る年間指導計画の見直しを通して～	平成24年 2月17日(金)

- ### 大学連携
- 鹿児島大学教育学部
 - 鹿児島国際大学

研究協力員

県内の教員の中から委嘱された36人の研究協力員が、所員と協力しながら実践研究を進めています。

2 教職員研修事業

- 悉皆研修
- 希望研修

悉皆研修(対象者全員)

- 経験年次別研修
- 職務別研修

希望研修

- 短期研修講座(本年度124講座開設)
- 土曜講座(本年度約150講座開設予定)
- 「心をひらく生徒指導力向上講座」(本年度から大島会場を新設)



短期研修「図画工作基礎講座」



新任校長研修会「危機管理マネジメント講座・演習」

NEW
本年度から「研修講座協力員制度」を導入しました。



フレッシュ研修「小学校社会」

県総合教育センターは教職員の資質の向上と学校教育の活性化を目指し、7事業を展開しています。



5 教育相談事業

- 生徒指導、教育相談に関する調査研究や研究支援
- 電話・来所による教育相談

調査研究・研究支援

本年度は、「学校楽(たの)シート」を活用した、自己指導能力の育成に向けた生徒指導の在り方に関する調査研究を行います。

また、生徒指導や教育相談に関する研修講座の開設や指導助言も行います。



「心をひらく生徒指導力向上講座」

教育相談

いじめ、不登校、交友関係等の相談を受け付けています。

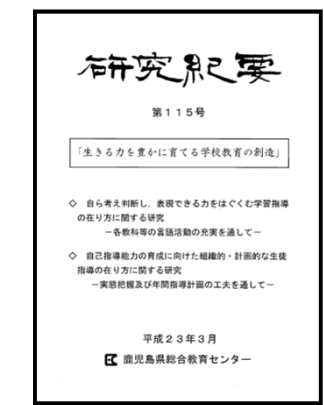
■■ 来所相談 ■■■■
(年末年始・祝日を除く。要予約)
月～金 8:30～17:00
電話 099-294-2200

■■ 電話相談 ■■■■
かごしま教育ホットライン24
0120-783-574
(フリーダイヤル)
099-294-2200
(直通)
0570-0-78310
(全国統一ダイヤル)

6 教育情報提供事業

- 指導資料
- 研究紀要
- Webサイト

研究紀要



研究紀要

指導資料

Webサイトからダウンロードができます。平成23年度は4月に21本を掲載しています。

Webサイト



Webサイト

3 特別支援教育事業

- 特別支援教育に関する調査研究や研究支援
- 子どもに関する教育相談や就学指導に関する支援

調査研究・研究支援

本年度は、通常の学級に在籍する児童生徒のつまずき要因に応じた具体的な授業実践例の収集やアセスメントシートの検証、認知の特性に配慮した指導・支援、手だての研究等を行っています。

また、悉皆研修や希望研修等で、特別支援教育に関する研修講座を開設しています。

教育相談

障害のある子どもや学習面・行動面につまずきのある子どもに関わる相談を受け付けています。




土曜講座「アセスメント入門講座」



短期研修「通常学級における特別支援講座」

◆◆ 来所相談 ◆◆◆◆
(年末年始・祝日を除く。要予約)
月～金 8:30～17:00

◆◆ 電話相談・来所相談予約 ◆◆
099-294-2820



特別支援教育研修棟は、正面玄関に向かって左側です。

7 研究支援事業

- 所員派遣
- 来所研究
- 文書・電話等による支援

所員派遣

各教科等や生徒指導・教育相談・特別支援教育等に関する校内研修会や授業研究会での指導助言などを通して、教職員の資質の向上や学校教育の活性化を支援します。また、各種研修会、研究公開などでも指導助言をします。



来所研究

県総合教育センターに来所しての研究・研修への指導助言を通して、具体的なニーズに応じた支援を行います。

平成22年度の実績

所員派遣	305件
来所研究	213人
文書・電話等	58件

文書・電話等による支援

文書・電話やWebサイトで質問や問い合わせを受け付けています。

■■ お問い合わせ ■■■■
電話 099-294-2312 (企画課)
Webサイト www.edu.pref.kagoshima.jp

推進中の調査研究や、研修者の様子を御紹介します。

プロジェクト 研究

「焦点化」「共有化」「全員参加型」などをキーワードに、
みんなで取り組み、学び合う授業研究の在り方を提案します。

プロジェクト研究推進委員会

所員によるワークショップ型授業研究の研修

1 研修手法の整理

事前研究から改善策の具体化までの授業研究の進め方について、具体的な研修手法を整理します。

1



2

各種シートの作成

授業検討会の成果等を日常の授業改善につなげるための授業改善シート等のモデル案を作成します。

3



実践

県内4つの授業研究実践校において授業研究を行い、成果や課題等を明らかにします。

4

まとめ、成果の普及

パンフレットを作成して県内の学校に配布するとともに、Web上にも掲載するなど、成果の普及に努めます。



【授業研究実践校】

- 鹿児島市立本名小学校
- 鹿児島市立吉野東中学校
- 県立松陽高等学校
- 県立鹿児島養護学校

付箋紙を活用したグループ協議

調査研究発表会 平成24年1月27日(金) で研究の成果を発表します。

テレビ会議 システム

インターネットの環境があれば、簡単な設定と手順で利用できる「テレビ会議システム」を導入しました。



Webサイトに利用案内を御紹介しています。

長期研修



4月28日(金) 計画発表会

長期研修者研究発表会
平成24年2月24日(金)

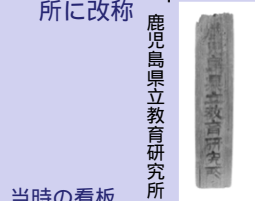
長期研修は、研修者が自ら設定した研究主題について、1年間にわたり、継続的に研修する制度です。本年度は11人(小学校5人、中学校3人、高等学校2人、特別支援学校1人)の教員が取り組んでいます。

各自の研究課題の究明はもちろん、多彩な研修内容も計画され、充実した研修の日々を過ごしています。

県総合教育センターの あゆみ(発足～S53)

1

- S26.4 県立図書館内(城山町、現在県立博物館)に鹿児島県教育研修所発足
- S28.4 鹿児島県教育研究所に改称



当時の看板

- S43.11 鹿児島県教育センター開所(吉田村:現在地)
- S44.1 教育相談事業開始
長期研修講座スタート
- ".8 指導資料第1号発行
- ".9 「哲学の道」完成



- S44.11 鹿児島県教育センター落成式挙行政
- S50.4 へき地教育研修室、特殊教育研修室を新設、図書資料室を教育資料室に改変
- S53.11 開所10周年記念式典挙行政

大原台第143号へ続きます。

閲覧室

管理棟(正門すぐの建物)の2階です。所内での閲覧だけでなく、図書の貸し出しも行っています。



教育関連の図書が充実しています。書庫内の貴重な資料も閲覧が可能です。

継続研修

県内の高等学校の教員を対象に、新しい情報技術の習得を図り、情報処理教育及び情報教育の充実に資することを目的に、年間19回専門的な研修を行っています。



継続研修発表会
平成24年2月3日(金)